



くうき 空気はどこからつくられるの

おおむかし くうき げんざい くうき 大昔の空気は現在の空気とちがう

おおむかし ちきゅう むすう せい ちい せい
大昔の地球は、無数のびわく星とよばれる、小さなわく星がしょうとつし、そのしょう
とつのとときのエネルギーで、表面の温度は1000 ドスイーじょう がんせき ようがん
の海ができました。とけた岩石から大量のガスが発生し、その中には、水蒸気のほか、
にさんかたんそ そ えんそ
二酸化炭素、ちっ素、塩素などがふくまれていました。

あつ ちきゅう ひ すいじょうき くも たいりょう あめ
熱かった地球がだんだん冷えてくるにつれて、たくさんの水蒸気が雲をつくり、大量の雨
が降り続けました。そして、地球に海ができました。

しょくぶつ さんそ 植物が酸素をつくる

できたばかりの海には、生物が生きられないような物がとけこんでいたので、生物が誕生
するまで時間がかかりました。やがて、葉緑素をもつ植物が現れ、光合成によって酸素を
つくり出すようになり、海に動物が現れました。

しょくぶつ どうぶつ いちぶ すこ うみ りく うつ りくじょう ようりょくそ しょくぶつ
植物や動物の一部は、少しずつ海から陸へと移りすみしました。陸上で葉緑素をもつ植物
がおいしげり、光合成によって、さかんに酸素をつくり出しました。その酸素を動物が呼吸
に使い、にさんかたんそ だ
二酸化炭素をはき出します。

このようにして、酸素と二酸化炭素のじゅんかんが、さかんになりました。さらに、火山
の噴火のガスも混じって、現在のような空気ができ上がったと考えられています。

げんざい くうき さんそ やく ぶん そ やく ぶん にさんかたんそ
現在の空気は酸素が約5分の1、ちっ素が約5分の4、そのほか、二酸化炭素、アルゴン
やネオンなどがふくまれています。(監修・国司 真)

